

福よせ雛プロジェクトのお話



平成22年12月、名古屋近郊の主婦9名が発案しプロジェクトを立ち上げました。(一般社団法人日本社会文化教育機構 / 代表理事・吉野孝子) この事業に関わるすべての人々に福がくるようにとの願いを込めて「福よせ雛」と名づけ、約1年間の準備期間を経て平成23年2月に「文化のみち 二葉館」で発表、以降「福よせ雛」の理念を共有する各支援チームや各地域の参加チームと町・市・県を超えて協力し合いながら地域活性に寄与する事業として運営しています。



支援チームの寺院や施設で人形供養を受けた雛人形を譲り受けます



人形供養を終えた膨大な数のお雛さまを仕分けします



各会場それぞれに毎年テーマを変えて展示しています



プロジェクト本部メンバーと各会場の運営メンバーさんが協力しながら準備・設営します



大道具小道具等、必要なものは手づくりします



フランス・コマルの旅行博に海外出張し国際交流



警察署から感謝状をいただきました



東北復興支援活動として女川町を訪問



名古屋城本丸御殿復元を応援



雛人形の役目を卒業した「福よせ雛」たちは、自由に生き生きと各地で活動しています



福よせ雛プロジェクトのあゆみ

平成21年12月
各家庭で不要となったお雛様を救うため
“人と共に生きるお雛様”を普通の主婦9人で考案。

平成22年1月
名古屋市文化のみち二葉館のご厚意により翌24年
2月8日の二葉の日に公開することが決定する。
これより1年をかけて捨てられるお雛様の救出作戦が
開始される。平成22年11月都上八幡町へ
“お雛様の町おこし”を提唱し協力を求める。

平成23年 記念すべき第1回
名古屋市文化のみち二葉館にて【雛人形の日常展】
として日本で初めての“お雛様”が発表される。
続いて中日画廊、ランの館、白鳥庭園、都上八幡博覧館、
名古屋三越・星ヶ丘店での開催。

平成24年 第2回
名古屋市文化のみち二葉館において“福よせ雛”と
命名され福よせ雛プロジェクトが発足する。
第2回福よせ雛展が二葉館を皮切りに開始される。
続いて名古屋三越・星ヶ丘店、都上八幡城下町一体及び
都上八幡城、荒子川公園ガーデンプラザ、
東山スカイタワー、東山ポート、ランの館、白鳥庭園、
にて開催。

平成25年 第3回
文化のみち二葉館、都上八幡城下町一体及び都上八幡城、
東山スカイタワー、名古屋三越・星ヶ丘店、ランの館、
白鳥庭園にて開催。

福武どんぐり工房、星が丘グループをはじめ
星が丘エリア、愛知県平針運転免許試験場が初参加。

平成26年 第4回
文化のみち二葉館、都上八幡城下町一体及び都上八幡城、
東山スカイタワー、ランの館、白鳥庭園、星が丘グループを
はじめ星が丘エリア、道の駅どんぐりの里周辺へ旧道沿い、
平針運転免許試験場にて開催。

中部国際空港セントレア、愛知県警中村警察署が初参加。

4月 宮城県女川町仮庁舎にて「第4回福よせ雛」を開催。
10月 尾張徳川家菩提寺徳興山建中寺にて
“福よせ雛壮行会”開催。

11月 フランス・コマルにて開催された旅行博で
日本ブースに福よせ雛を展示する。

平成27年 第5回
文化のみち二葉館、都上八幡城下町一体及び都上八幡城、
東山スカイタワー、白鳥庭園、星が丘グループをはじめ
星が丘エリア、豊田市稲武どんぐり工房、
平針運転免許試験場、中部国際空港セントレア、
愛知県警中村警察署にて開催。名古屋、イーブル名古屋、
大須 KOMETHYO 名古屋本店が初参加。

平成28年 第6回
文化のみち二葉館、都上八幡城下町一体及び都上八幡城、
東山スカイタワー、白鳥庭園、星が丘グループをはじめ
星が丘エリア、豊田市稲武どんぐり工房、
平針運転免許試験場、中部国際空港セントレア、
愛知県警中村警察署、名古屋、イーブル名古屋にて開催。
三河吉浜人形小路沿道、有松鳴海紋会館・山車会館ほか
旧東海道一帯、大塚屋車道本店・ヴォーグ学園校内、
大須 KOMETHYO 名古屋本店・大須商店街有志各店、
豊橋二川・商家駒屋が初参加。

